

ATエクスプレス

第14号

今月のオスプレイは
コレだ!

「青森の牛肉三大祭り」

田子町・七戸町・五戸町



※写真は昨年の「にんにくとべごまつり」の様子。田子牛とビールがうまい!

青森県には沢山の地元牛がありますが、今回は田子牛・倉石牛・七戸産牛のまつりを紹介します。

まずは、田子町で行われる「第21回にんにくとべごまつり」。全国的にも有名な田子産のにんにくをふんだんに使った特製のタレで田子牛のバーベキューを味わう祭りです。にんにくの試食会やにんにくに関するQ&A、地元郷土料理の出店もあります。また、まつりにはアメリカからガーリッククイーンが来日し、田子町のガーリックレディと一緒に参加する予定で、こちらも楽しみです。

次は、「夢の森収穫感謝祭&倉石牛肉まつり」。こちらは高級品の倉石牛の販売と倉石牛の焼き肉パーティーが行われます。とろけるようにやわらかい倉石牛を味わえます。お見逃し無く。

最後は、「東八甲田家族旅行村ベゴッコまつり」。大自然の中で育った黒毛和種の七戸産牛を堪能しながら特設ステージでショーが楽しめます。

食欲の秋、こんなに美味しい祭りが目白押しです。是非ご家族でお出かけ下さい。

◆ 第21回にんにくとべごまつり ◆

【開催期間】 9月30日(土)
～10月1日(日)

【開催時間】 10:30～15:00

【開催場所】 田子町「大黒森・創遊村」

【料金】 田子牛250g(野菜付き)で
バーベキュー前売券:1枚2,000円
バーベキュー当日券:1枚2,500円

※限定2,000食。前売券の販売は
9月29日(金)まで。

当日は町の特産品が当たる抽選会を行います。

【問合せ先】 田子町経済課
TEL 0179-20-7114

◆ 夢の森収穫感謝祭 &倉石牛肉まつり ◆

【開催期間】 10月8日(日)
～10月9日(月・祝)

【開催時間】 9:00～16:00
バーベキューは10:00～14:00

【開催場所】 五戸町「小渡平公園」

【料金】 倉石牛250g(野菜付き)で
バーベキュー前売券:1枚1,500円

※限定2,400食。前売券のみ。

倉石牛がこの値段で食べられる機会は
倉石牛肉まつりだけ!

【問合せ先】 五戸町農林課
TEL 0178-62-2111

◆ 東八甲田家族旅行村 ベゴッコまつり ◆

【開催期間】 10月8日(日)

【開催時間】 10:00～15:00

【開催場所】 七戸町
「東八甲田ローズカントリー」

【料金】 七戸産牛300g(野菜付き)で
バーベキュー前売券:1枚1,500円

※前売券の販売は9月28日(木)まで。
完全前売制です。

毎年三千人も訪れる大規模なまつり。
豪華景品が当たる抽選会もあります。

【問合せ先】 七戸町商工観光課
TEL 0176-62-9703



青森県の **楽** しいイベント

■ ■ 皆さまのご参加をお待ちしております！ ■ ■

東青地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
山・川・海の感謝祭	10月1日(日) 10:30~	平内町 夜越山森林公園 (017-755-2118)	記念植樹やチェンソー技術コンテスト、ほたてプレゼントなどが行われる。	☆
ワンちゃんふれあいフェスタ	10月1日(日) 10:00~15:00	青森市 モヤヒルズ (017-764-1110)	愛犬のしつけ教室やドックラン、子犬のオークションが行われる。 ※雨天の場合は、8日に延期。	☆
石坂洋次郎没後20年展	10月6日(金) ~11月19日(日)	青森市 青森県近代文学館 (017-739-2527)	石坂洋次郎が郷里の津軽を舞台とした人気作品『石中先生行状記』と、石坂のフィリピン従軍体験を扱った『マヨンの煙』をテーマに、没後20年を迎えた石坂文学の魅力に改めて迫る。	
雪中行軍遭難事件 についての学習会	10月7日(土)・ 15日(日)	青森市 八甲田山雪中行軍遭難資料館 (017-728-7063)	資料館展示室の見学、ボランティアガイドによる墓苑の解説及び質疑応答が行われる。 午前10時~11時30分(午前の部)・午後1時30分~3時(午後の部)	☆
雲谷新そば祭り	10月7日(土)~22日(日) の土・日曜日と9日(月) 10:00~16:00	青森市 モヤヒルズ (017-764-1110)	新そば生麺・そば粉・そば打ち道具の販売、そばがき・そば茶の試食、石臼挽き体験、そば打ち体験会などが行われる。 【そば打ち体験会】10/8(日)、14(土)、21(土) (注)要予約	☆

南部地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
第21回 にんにくとべごまつり	9月30日(土) ~10月1日(日) 10:30~15:00	田子町 大黒森・創遊村 (0179-20-7114)	田子町のにんにくを使った特性のタレで、田子牛のバーベキューを味わう祭り。抽選会や地元の色を集めた小売店が並ぶなど、田子町を堪能できる。 ※詳しくは、1面をご覧ください。	☆
和太鼓フェスティバル	10月1日(日) 12:30 開場 13:00 開演	おいらせ町 いちょう公園体育館 (0178-52-3900)	町内から3団体の太鼓グループと「東京打撃団・小太郎」を迎えて開催する和太鼓のステージ。「東京打撃団・小太郎」は、FIFAワールドカップフランス大会閉会式など、国内はもとより海外公演も多数行っている。 【入場券】前売り:1,000円(小学生以上)当日1,300円	☆
道の駅みさわ 斗南藩記念観光村イベント	10月1日(日) 10:00~	三沢市 道の駅みさわ斗南藩記念観光村 (0178-50-2211)	地元のお母さんたち手作りの斗南なべ、新鮮野菜の販売のほか、丸太切り大会など楽しいイベントが盛り沢山。	☆
熱血! 商魂まつり	10月6日(金) ~8日(日)	横浜町 大町商店街ほか (0175-78-2218)	商店街通りを歩行者天国にして、いろんなアトラクションや出店、フリーマーケット等が行われ、盛りだくさんの3日間。	☆
史跡根城まつり	10月7日(土)	八戸市 史跡根城の広場 (0178-41-1661)	野点・琴の演奏会などが行われる。当日は、八戸市博物館と史跡根城の広場本丸を無料開放する。	☆
おいらせ町 生涯学習フェスティバル	10月7日(土) ~11日(水)	おいらせ町 町民交流センター小ホール他 (0178-56-4276)	生涯学習に関する様々な情報提供や活動交流の場で、日頃の活動成果の発表、交流などを行う。音楽あり、踊りあり、講演あり、体験あり…と、様々な文化や芸術など満喫できる。	☆
南部道楽 フェスティバル2006	10月7日(土) ~8日(日)	八戸市 八戸市庁前広場・中心街 (0178-43-5111)	ストリート(中心街)とひろば(市庁前)を舞台に、ダンスコンテストやストリートミュージック、野外劇などを行う市民参加型のイベント。	☆
東八甲田家族旅行村 ベゴッコまつり	10月8日(日)	七戸町 東八甲田ローズカントリー (0176-62-9703)	七戸産牛(黒毛和種)を味わってもらおうと、毎年大勢の来場者を迎えて開催。特設ステージでは、仮面ライダーショーや大抽選会が行われる。 ※詳しくは、1面をご覧ください。	☆
ふれあい牧場デー	10月8日(日)	おいらせ町 カワヨグリーン牧場 (0178-56-4111)	バーベキューや、野外ステージ、ものづくり体験など、楽しい催しがたくさん行われる。秋の味覚を満喫できるイベント。	
第20回 新郷ふるさとまつり	10月8日(日)	新郷村 間木ノ平グリーンパーク (0178-78-2025)	県内郷土芸能フェスティバル・土佐犬斗技大会、川魚つかみどり大会など色んなイベントや地場産品を一堂に集めての格安販売などが行われる。	
夢の森収穫感謝祭 &倉石牛肉まつり	10月8日(日) ~9日(月)	五戸町 小渡平公園 (0178-62-2111)	倉石牛肉の販売・焼肉パーティー、特産品の販売・展示などが行われる。 ※詳しくは、1面をご覧ください。	
ふるさと学習塾	10月11日(水) 19:00~	おいらせ町 イオン下田SC2Fイオンホール (0178-56-4276)	サッカーワールドカップ~日本代表の軌跡~ と題した、サッカー解説者で元日本代表の山野孝義さんの講演会。入場無料。	☆
駒フェスタ十和田	10月中旬	十和田市 中央公園緑地(予定) (0176-23-5111)	かつて馬産地として栄えた十和田市ならではの馬にこだわったイベント。間近で見られる流鏝馬はまさに圧巻。	☆
カラウスヒ 水車搗き新そばまつり	10月15日(日) 13:00~15:00	田子町 新田地区内 (0179-20-7114)	この地区では、水車のことを「からうす」と呼んでいる。この水車で粉ひき作業を実演し、打ちたてのそばを味わう。このときにしか味わえない幻のそばを求める人で賑わう。先着700食限定。	☆
ハロウィンフェスタ in MISAWA	10月21日(土)	三沢市 アーケード商店街 (0176-53-2175)	仮装した子供たちにお菓子をプレゼント。ハロウィン一色の商店街が楽しめます。	☆
第5回ずっぱど・ わかっど・あざんど祭り	10月21日(土) ~22日(日)	野辺地町 野辺地町中央公民館駐車場 (0175-64-2164)	地域の特産品の販売をはじめ、屋台村、歌謡ショー、ゲーム大会、売出しなど消費者との触れ合いを図るイベント。	

南部地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
はちのへ菊まつり	10月27日(金) ～11月5日(日)	八戸市 八戸市庁前広場 (0178-43-2111)	菊の展示(大菊展、福助展、懸崖展など)、菊作り講習会などが行われる。	☆
公民館まつり	10月28日(土) ～29日(日)	横浜町 ふれあいセンター (0175-78-6622)	町民の各団体・個人の手芸・写真等の作品展示、食堂コーナー、フリーマーケット、お茶席などが行われる。	☆
産業まつり	10月28日(土) ～29日(日)	六ヶ所村 尾駈漁港特設会場 (0175-72-2111)	太平洋で獲れた新鮮なメス鮭と素手で捕まえる豪快な「鮭のつかみどり」の他、牛肉バーベキュー、農海産物の即売など、食べて遊べるイベント。	

中南地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
第3回 あじやら山麓音楽祭	10月1日(日) 9:30～	大鰐町 大鰐温泉スキー場高原エリア「プラザ」 (0172-47-6800)	中南地区の5中学校が演奏予定。他、アマチュアバンドが2組、地元小学校のよさこいソーランやマーチングバンドなども参加。出店コーナーなども多数あり。	☆
第15回 大鰐町学校音楽祭	10月5日(木)	大鰐町 大鰐小学校体育館 (0172-48-2167)	大鰐町内の小中学校とコーラスグループが参加し、コーラスや様々な演奏を披露する。	☆
猿賀神社例大祭	10月5日(木) ～7日(土)	平川市 猿賀神社 (0172-57-2016)	民族芸能の獅子踊りの奉納や「観月会」「神恩感謝祭」などの祭事等が行われ、県内外から大勢の人が訪れる猿賀神社の各種祭りの中で一番の賑わいをみせる大祭。	
中野もみじ山 ライトアップと三味線演奏	10月7日(土) ～11月8日(水)	黒石市 南中野 (0172-52-2111)	昼は鮮やかな紅葉、夜はライトアップされさらに美しさを増し、三味線演奏も行われ紅葉を満喫することができる。 【ライトアップ日時】期間中夕暮れから21時まで 【三味線演奏日時】期間中の土、日、祝日の17時から30分程度	☆
津軽の食と産業まつり	10月13日(金) ～15日(日)	弘前市 弘前市克雪トレーニングセンター (0172-33-4111)	津軽地域の食にこだわり地場産品を一堂に集め、PRと販売を行う「食」と「産業」の博覧会。地場産品、工芸品、友好都市の特産品などの販売や展示ブースが並ぶ。ソバ打ち体験や抽選会、ゲームコーナーもある。	
十二湖トレッキング 33湖めぐり	10月14日(土)・15日(日) 22日(日)・29日(日)	深浦町 十二湖地内 (0173-77-3113)	十二湖に点在する33の湖沼をすべて巡る企画(有料)。普段は見ることの出来ない湖もたくさんある。(有料) ※詳しくは、左記にお問い合わせください。	☆
第4回白神・西目屋 新そば祭り	10月15日(日) (予定)	西目屋村 物産センターBeechHIにしめや (0172-85-2801)	西目屋村の新たな物産品である西目屋村そば(白神そば)を村内外に広く知ってもらいたいイベント。そばの無料試食会やそば打ち体験など白神そばを堪能できる。	
弘前城菊と紅葉まつり	10月20日(金) ～11月5日(日)	弘前市 弘前公園内植物園 (0172-37-5501)	菊人形の会場では、豪華絢爛な菊人形が展示され、丹精込めて作られた大輪・中輪・懸崖などの香り高い菊花が見事に咲き競う。多くの併催行事が行われるほか、菊人形作り方講習会なども開催。	
第21回津軽深浦 チャンチャンまつり	10月21日(土) ～22日(日)	深浦町 夕日公園 (0173-74-3320)	地元でとれた新鮮な鮭の鉄板焼き(チャンチャン)が楽しめるグルメまつり。郷土芸能、鮭の大漁引きなども行われる。	

西北五地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
津軽金山焼 秋の陶器祭り	10月7日(土) ～9日(月)	五所川原市 津軽金山焼 (0173-29-3350)	陶芸体験教室、ろくろ体験、登り窯の窯出し、即売会等が行われる。	☆
りんごの里 いたやなぎウォーク2006	10月15日(日)	板柳町 板柳町ふるさとセンターから出発 (0172-72-1800)	健康づくりの一環として全国的に人気がある「ウォーキング」の祭典を、「りんごの里板柳」で開催。第7回目を迎える。 ※参加料・出発時間については、要問合せ。	
第2回ワークショップ	10月15日(日) 10:00～13:00	五所川原市 立佞武多の館 (0173-34-9022)	津軽鉄道沿線にある「地元の資源」を発掘するワークショップ。 ※詳しくは、左記にお問い合わせください。	
第9回こどもり新鮮朝市	10月21日(土) 9:00～11:00	中泊町(小泊) おまつり広場 (0173-64-2111)	中里産の新米や漬物用の新鮮な野菜がお買い得な朝市。スルメイカ漁も最盛期で、一夜干しやイカ沖漬け、塩辛など、イカの加工品も一段とうまみをましている。	
第23回 ごしょがわら産業まつり	10月21日(土) ～22日(火)	五所川原市 つがる克雪ドーム (0173-35-2111)	農産加工品即売コーナーが設置されたり西北五物産展が行われる。また、豚汁の無料サービスも行われる。	☆
第13回 ごしょがわら菊まつり	10月21日(土) ～22日(日)	五所川原市 つがる克雪ドーム (0173-35-2111)	地元の小学生や高校生が育てた菊を展示。西北五の観光紹介、物産展も同時に開催する。	☆
道の駅「こどもり」 感謝フェア	10月22日(日) 10:00～14:00	中泊町(小泊) 道の駅「こどもり」 (0173-63-3942)	降雪で休業に入る前の感謝祭。小泊沖で獲れたマグロの解体ショーや新鮮な魚類の競りは、とても好評。	
西北五民俗芸能フェア	10月29日(日)	五所川原市 オルテンシア (0173-38-1515)	西北五地域の民俗芸能発表が行われる。	☆

下北地区

イベント名	開催日時	場 所	内 容	新
恐山秋詣り	10月7日(土) ～9日(月)	むつ市 恐山 (0175-22-3825)	秋詣り(御礼詣り)といわれ、大施食法要会、大般若祈禱が行われる。また、期間中はイタコの口寄せも行われる。	
ひがしどおりむら 新そば街道まつり	10月7日(土)～9日(月)	東通村 村内各地 (0175-27-2111)	村内9カ所の民家や集会所を会場に、9つのグループがそれぞれに腕を振るって、収穫したばかりの東通産十割そば(石臼挽き)を提供する新そばまつり。開催場所は、街道沿いののぼりと看板が目印。	
川内高原まつり &ベコまつり	10月8日(日)	むつ市 野平高原キャンプ場 (0175-42-2301)	芸能ショーや野平牛バーベキュー、お楽しみ抽選会など多彩な催し物が開催される。また、新鮮な高原野菜などの即売も行う。	
大間超マグロ祭り	10月20日(金) ～22日(日)	大間町 大間港特設会場 (0175-37-2233)	大間のマグロと海の幸を存分に味わえるイベント。マグロ漁ウォッチングやマグロ解体ショー、海鮮バーベキュー、マグロの即売が行われる。	
東通村産業まつり	10月22日(日)	東通村 東通村体育館周辺 (0175-27-2111)	東通村の物産を一堂に集め、低価格で販売。試食も豊富で、数多くの山海の幸を堪能できる。また、抽選会なども開催。旬の食材を満喫できる。	

※1 「新」の欄に☆印のあるものは、北彩紀行2006夏・秋版のイベント一覧の中で紹介できなかったものを今回調査し、つけ加えたものです。

※2 色づけしているイベントは、1面に紹介しているものです。

(注)開催時間は、あくまでも予定です。

教えて！三蔵先生！！

さんげん



ひのもとちゅうおう
謎の遺跡紀行『日本中央の碑』（その九）

日本書記の中に「阿倍比羅夫が658年～661年の三年間に、毎年180艘から200艘の大船団で都加留蝦夷を討った。」「その後、蝦夷が恭順したため、安東浦で饗応した。」とある。

なお、安東浦とは現在の青森県深浦町のあたりの海岸だと思うが未だに特定されていない。

この時期は朝鮮半島において、日本・百済連合が新羅と戦っており、しかも戦況が非常に不利な状況下にあった。このような時期に、新たにもう一方で戦端を開くということは、戦力を二分することになり戦略上はたして有り得るだろうか。

しかも、遠征の3年前の655年には、「津刈の蝦夷6名に冠位を授けた」という記事が日本書記にある。これは、朝鮮半島の緊迫した政情を受けて、明らかに津軽蝦夷を懐柔する政策を執っていたことになる。

しからは、この朝廷の方針に反するような行動

を阿倍比羅夫が何故にとったのかという疑問が残る。

先に、蘇我氏との権力争いに敗れた物部一族は三百余年にわたる支配者の座から追われ、その本体は北へ逃れ、物部の傍系はそのまま大和朝廷に残ったことを述べた。

水軍については、物部25部族の中で最も得意する分野であり、一朝一夕に編成できるものではないことから、この阿部比羅夫水軍が物部の傍系だとしたらどうだろうか。

つまり、朝鮮半島の緊迫した政情に対応するため、軍事訓練を兼ねながら同族である物部宗家に支援をもとめるために会いに行ったのではないかと。ところが同族に会いに行ったとは言えないことから、「都加留蝦夷を討った」と朝廷に報告した。このことが、そのまま日本書記の記録に載ったと見るべきだと思う。

(つづく)

編集者が

このコーナーでは、青森県観光局の職員がお薦めする観光スポットを紹介して行きたいと思います。

今回は、

 T・M さんに

インタビューしてみました。

☆ 谷地温泉 ☆

日本三大秘湯の一つだそうだ。

「秘湯」—なんともありがたい響きである。しかも「三大」である。一体ほかの二つはどこなのか、よく分からないが、これで入らなかつたら日本人ではない。ということで行ってみました。

青森市内から1時間ちよつとで着いてしまった。なんて簡単にたどり着くんだ、秘湯。一体どの辺が秘湯なのか、よく分からなくなった。しかし何とんでも「秘湯」である。これですむわけがない。

建物の中に入った。自動販売機で入場券を買った。なんて平凡なんだ。これじゃあ銭湯と変わりが無いじゃないか。いやいや、きっと中の浴槽が凄いことになってるんだ。なんといっても「三大秘湯」である。侮ってはいけない。緊張して建物の中を進んだ。

そして浴場にたどり着いた。

そして浴槽……秘湯の奥は深い。

薦める観光スポット

♡ ATE 事務局 ♡

〒030-8570

青森市長島1-1-1 青森県庁観光局新幹線交流推進課内

(社) 青森県観光連盟 & 青森県大規模観光キャンペーン推進協議会

電話 017-722-5080

20060925